

魚類を用いた内分泌攪乱作用のスクリーニング試験



The Knights

内分泌攪乱作用に関する経済協力開発機構(OECD)のスクリーニング・試験方法開発の一環として、魚類を用いたスクリーニング試験(ビテロジェニン産生試験)に関する国際的検証試験(リングテスト)が3月から開始され、日本の3試験機関(化学物質評価研究機構、国立環境研究所、国土環境)及びドイツのバイエルが参加します。

現在、内分泌攪乱作用物質に関して、国際的にその作用を検出するための試験方法が確立されておらず、OECDを中心にスクリーニング・試験方法の開発が進められています。具体的な試験方法とは、以下に示す2つです。

- 1) 人健康への内分泌攪乱作用検出のため、哺乳類を用いた試験方法
- 2) 生態系への内分泌攪乱作用検出のため、魚類、鳥類、両生類、無脊椎動物を用いた試験方法

今回開始される第一段階のリングテストは、魚類を用いたビテロジェニン産生試験に関するものです。使用される魚種は、メダカ、ファットヘッドミノー、ゼブラフィッシュの3種類で、いずれも内分泌攪乱化学物質の生態影響に関する試験魚としてOECDで推奨されているものです。環境省では、メダカを用いて試験方法の開発を進め、有害性評価を行っているところです。

リングテストの試験結果は、5月2日に開催されるOECDの生態系試験法検証管理グループ(VMG-eco)の会議に提出され、次の段階の試験実施に関する方針について議論される予定です。

資料:平成15年4月2日付 環境新聞

平成15年3月26日付 環境省ホームページ

環境技術課 坂田旭子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

